

令和3年4月門川町臨時教育委員会会議録（概要版）

- 1 日 時 令和3年4月30日（金） 午前8時50分～午前10時32分
- 2 場 所 役場2階会議室
- 3 出席委員 新原とも子教育長、久保廣良教育長職務代理者、黒木昌代委員、
金丸正文委員、金丸眞委員
- 4 事務局 椿原教育課長、奈須教育課長補佐、鈴木教育課長補佐、植野主幹
- 5 議 事 令和3年度学校経営説明（各学校長）

6 議事の概要

（1）開会（午前8時50分）

（2）教育長あいさつ

（3）議事

令和3年度学校経営説明（各学校長）

●新原教育長

各学校が、今年はどこに力を入れて、どんな成果を出したいと思っているのか、特徴が表れる説明をお願いしたい。

また、教育委員が学校支援訪問に行ったときにどこを見ればよいのか分かるような配慮をしていただければ助かる。

門川小学校 竹崎校長が資料を用いて説明

○金丸眞委員

図書館の貸し出し冊数が、令和2年度が39.9冊で、令和元年度が16.8冊となっているが、伸びた理由はなにか。

●竹崎校長

昨年度は、読書活動の推進に学校全体のテーマとして取り上げた経緯があり、学級担任が積極的に関与した。また、学校図書員や学級担任が子供たちに読書の楽しさを伝えてくれている。

しかしながら、学年が上がるに従って、帰宅後はスマホやゲームに時間を取られるという状況も見られることから、本年度、本腰を入れて取り組むことで、どれだけ効果をもたらすか関心を持っている。

○久保廣良委員

資料では、学年が上がるに従って読書量が減少する様子が見られるが、学年が上がるにつれてスポーツ少年団活動や習い事などの時間が多くなり、読書量の減少につながっているのではないか。

●竹崎校長

それは大きいかと思う。読書時間をできれば30分ないし1時間程確保できればと思う。

高学年では仕方がないとあきらめるのではなく、読書の楽しみを伝えていくこと。今年はそれを一番に考えている。

五十鈴小学校 崎田校長が資料を用いて説明

○黒木昌代委員

西門川小学校の閉校に伴い、西門川の子供たちが五十鈴小学校に通うようになり1年がたつ、子供たちは元気に五十鈴小学校に通っており、受け入れに感謝する。

また、今年の計画に西門川訪問があり、門川の子供たちが、120年間この地に西門川小・中学校があったことを知ってくれることをうれしく思う。

○金丸正文委員

コロナ禍にあつて、通常この時期は家庭訪問、PTA総会が行われ、今後は参観日もあるが、どのような対応をとっているのか。

●崎田校長

家庭訪問については、昨年と同様、職員が家庭を訪問する形ではなく、学校での二者面談という形で密を避けている。

また、PTA総会については、書面にて、議案提案、質問受け付け及び回答を行った上、了承をいただく形を考えている。

参観日については、密を避けられないため4月の参観日は中止とした。

●新原教育長

校長会で対応を取りまとめ、各学校で同様の対応を図っているところである。

○久保廣良委員

五十鈴小学校だけのことではないが、地域によってはICTやタブレット端末の導入が遅れているとの新聞報道もあった。市町村や学校単位でも状況はそれぞれだと思うが、それらを授業で利用するにあたり、現場の状況はどうか。

●崎田校長

タブレット使用経験の有無によって、やはり差はあると思う。

については、年間の研修計画に情報リテラシー向上を位置付ける必要があると感じている。

また、ICT導入に関しては、教育研究所による研究内容のフィードバックやICT支援員の活用等を図りたい。

●新原教育長

各学校とも同様の対応をとっており、研究所研究員を各学校の普及員と位置づけている。

草川小学校 中田校長が資料を用いて説明

○金丸眞委員

「ありがとう」が素直に言える児童の育成をお願いしたい。子どもの普段の生活態度にも好影響があると思うので続けていただきたい。

●中田校長

今年の幼保・小連携協議会の担当校長になっており、幼稚園・保育園と一緒に取り組みたいと思っている。

○黒木昌代委員

他学校の説明にもあったが、今、若い先生が多くなって中、ベテランの先生方の助言等が大切になってくると思うがどうか。

●中田校長

学年経営では、若手が学年主任になっており、学年主任を集めて話をしていきたい。

○久保廣良委員

各学校を訪問し授業参観を行う中、先生方が単元の終わりに、授業のまとめを行うにあたって苦心されている様子がうかがわれた。単元の中での配分には難しいものがあるかと推察される次第だが、先生方には更なる授業力の向上をお願いしたい。

●中田校長

最後の習熟の時間を取るためにも、早め早めにまとめをきちんと行えるよう、私たち管理職も授業を回るなどして、日常的に取り組みを行いたい。

門川中学校 山内校長が資料を用いて説明

○金丸正文委員

問題行動への組織的対応の話があったが、今現在の状況はどうか。

●山内校長

生徒たちの状況を見ているが、落ち着いたスタートを切れている。

先程説明した授業5か条を、再度確認したいと考えている。

○金丸正文委員

連休明けの問題行動が危惧されるので、早めの対応をお願いしたい。

大変だとは思いますが、予兆の段階で連携して対応していただきたい。

○黒木昌代委員

地域との連携にあたり具体的な考えや計画はあるか。

●山内校長

現在、模索中であるが、門川高校と連携する話が進んでいる。

町内唯一の中学校と高等学校として連携し、子どもたちの進路選択先にとどまらず、キャリア教育、各々の地域との連携及びボランティア・クラブ活動を軌道に乗せて行きたい。

○金丸眞委員

子どもの視点、先生方の視点、双方に私なりに伝えることで相互理解が進めばと考えている。

先生方と保護者との対話など、私共もできるだけ協力したいと思うので、よろしく願いたい。

(4) その他

●新原教育長

まだ少し時間があるが、他に質問や、併せて聞いておきたいことなど、事務局、校長同士でも、何かあればお願いしたい。

○金丸正文委員

毎朝さまざまな場所であいさつ運動が行われているが、出来る限りで構わないので、折にふれ、ご苦労様の一言をお願いしたい。

●新原教育長

学校経営の説明にもあったが、地域の方に何かをしていただく時、大人もありがとうございますと伝えていきたいと思う。

私を含めて5名の教育委員がいるが、先生方から教育委員にこのような形で支援してもらえるとありがたいという具体的な事柄があれば一言でお願いしたい。

●崎田校長

学校に足を運んで子どもたちの学びの様子を見ていただきたい。また、色々なご意見をいただく中で、学校もそれに向かい、皆で共通理解・共通実践が出来ればと思っている。

●中田校長

私も同じであるが、普段の子どもたちの学校の様子、学校支援訪問のときとは違う、普段の子どもたちの姿や学校の様子を見ていただきたいと思う。

7 閉会 (午前10時32分)